

資料に親しむ会 令和4年度第11回

「蔵書印に親しむ」

京都府立京都学・歴彩館職員が「蔵書印に親しむ」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和5年3月14日（火）午後2時～3時

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 46名

■ 内 容 幕末から明治初期にかけての京都における学校の蔵書印を紹介し、明治維新により旧幕府関係機関の蔵書が京都の学校に引き継がれたことを受けて、幕府関係機関の蔵書印を紹介した。
その後、現在の京都学・歴彩館に至るまでの資料の来歴を、集書会社から集書院、京都府立図書館、京都府立総合資料館にわたって解説した。

■ 参加いただいた方々のご意見（参加者アンケートより）

- ・蔵書印で資料の来歴を知ることができた。奥深さがおもしろかった。
- ・蔵書印からさまざまな歴史が連想され、学びの楽しさを実感した。
- ・福沢諭吉と京都の関係が興味深かった。
- ・実際に蔵書印を見る機会が少ないので、具体例が挙げられていて分かりやすかった。
- ・現物の資料が展示されていて、講義の内容を理解しやすかった。

（講座の様子）

